

コロンブス

MONTHLY COLUMBUS

ビジネスの新大陸を発見!!

9

2012
SEP.
680円

本誌編集長と20名の地域おこしの達人たちが選ぶ

混迷する時代を
生き抜くための知恵と
ノウハウが満載!!

地域おこしの必携本

【大地の魂】
有機生姜に挑みはじめた
有機栽培のスペシャリスト
飯田幹雄・有機農家

【地回り経済対談】
葉山に惚れ込んだ
若手町長が
行財政改革に挑戦
山梨景仁・葉山町長

アジア進出の達人
【池田博義のGlobal Channel】
中堅・中小企業支援の
トップコンサルティング
ファームを目指す
野沢カ・AGSグループCEO

【ニッポンのモノづくり通信簿】
「せんべい、おかき、あられ」の
米菓製造機のトップメーカー
前井智子・前井機械製作所代表取締役社長

ニッポンが誇る百年企業の底力

【特選銘柄】
百年企業の「老舗商法」から
地域再生のヒントを学べ
前原金一・経済同友会副代表幹事・専務理事

【地域経済レポート】
「老舗力」を分析できる
「企業生命カスケール」の仕組み
竹田茂生・関西国際大学人間科学部教授

【百年商法】
カツオ一筋の老舗企業が
医薬バイオ向けの培地素材を開発
村松憲行・マルハチ村松代表取締役社長



4.『知識創造企業』野仲育次郎、竹内弘高／東洋経済新報社



6.『地域再生の良』久繁哲之介／筑摩書房



7.『成功する! 地方発ビジネスの進め方』島田晴雄・NTTデータ経営研究所／かんき出版



8.『中山間地域の「自立」と農工商連携』関満博・松永桂子編著／新評論



9.『ダメな商店街を活性化する8つのポイント』鈴木健介／同友館



10.『地域主義の思想』玉野井芳郎／農文協



11.季刊「日本主義」／白陽社



12.『東海道中膝栗毛』十返舎一九／岩波文庫



5.『社会イノベータへの招待「変化をつくる」人になる』金子郁容・國領二郎・巖網林／慶應義塾大学出版会



4 関幸子

日本の高度成長期に大手日本企業の経営手法を調査して、知識社会における知識の重要性を解明した経営学の名著。著者の野仲氏はとくに日本企業のマネージメントに着目し、経験としての暗黙地と数値化できる形式地の両方を取り入れてきたことが、日本の企業経営の優位性と指摘している。あわせて、知識を創造できるのは個人であり、それを支えるのが組織であるとし、個人の発想や行動を重要視している。



5 後藤俊夫

ような手段で誰が解決するのかというプロセスが生まれる。まさにその過程は本書で語られる企業プロジェクトの動かし方と同様である。本書は混沌や混乱を経ることによって、人間は知識を生み出し、組織がまとまっていくとしているが、それもまたまちづくりへの示唆となるだろう。



6 佐藤洋平

著者の本書執筆の意図は明確である。「どんなに立派な箱物や器を造っても、潤うのは一部の利害関係者だけで、地域に暮らす人々は幸福果実を手に入れない」ということを伝えようとしている。箱物行政を支える土建工学者などの専門家に対し、「土建工学者など地域再生の専門家の成功基準は、箱物の建設、つまり土建行為そのものにある」「箱物を造れば成功とみなす彼らは、建設後の箱物が有効活用されているかどうかを検証しない」と厳しく糾弾する。地域再生プランナーとして、民間都市開発の研究に携わるなかで得た多くの地域再生に関する事例のなかから、地域再生における「罨」とそのカラクリを解き明かしつつ、地域再生のためのビジョンの提示や具体の提言を述べている。



7 香川晋平

千葉商科大学の学長、島田晴雄先生が地方発ビジネスの戦略と事例について紹介した一冊。島田先生は「大都会に住んでいる中高年者により豊かな生活を提供することが、地方の唯一の成長戦略」と断言し、具体的に地方発のビジネスをどうすすめていくべきかを、みずから関わった事例をもとに解



9 亀井哲郎

商店街が活性化しない理由が簡潔にわかりやすく項目ごとに書かれた本。お客様の満足度を中心に、本来あるべき商業活動の姿を解説している。理論的に8つのポイントをあげながら解説しているのが、非常にわかりやすく商店街を活性化する術が見えてくる。私自身もコメントを寄せているが、大変共鳴できる内容になっている。また、商店街活性化が地域の大きな課題となるなか、実にタイムリーな一冊といえる。



10 並河信乃

地域おこしの具体的な課題に取り組むには、その基礎となる拠って立つ思想的基盤がシッカリしていないといけない。著者の玉野井氏は今より30年以上も前に、いち早く地域主義を標榜し、市場志向からの脱却、生態系の重視などを基盤とする新たな経済学（広義の経済学）を提唱した。著者はこの本のなかで「1980年代はきつと新たな学問の時代―近代を超える学問が勃興するだろう時代―として特徴づけられるようになるであろう」と述べているが、さて、どうだったであろうか。今、ようやく、著者が当時考えていたことを社会が理解できるようになったので



8 増田紀彦

本書は島根県の中山間地域の産業をモデルにして、課題や取り組み、成果などを丹念な調査にもとづき、詳細に報告している。何と600頁超の大作である。そこまで深く掘ったがゆえに、本書は島根県という枠にとどまらず、過疎化・高齢化・人口減少・産業衰退に悩める全国の中山間地域の構造改革に、有用な普遍的示唆を与えている。あくまで農林畜産業という伝統的な産業を基盤にしながら、川下（流通・販売）展開の変革を見出した事例の数々は、まさに目からウロコの連続である。私自身、新潟県中越地方の中山間地域の産業活性化に取り組みなかで、本書の視点を大いに活用させていただいた。



11 佐藤建吉

はないだろうか。混迷する今の日本で、もう一度原点に戻って、この本を読み直す必要があると思う。

数ある雑誌のなかでも、この本を取り上げる人は少ないと思う。地域おこしのスタートはご当地自慢であり、そのキーワードは地域に根ざした文化、歴史、伝統、そして人など、多岐にわたる。ここであげた『日本主義』はその名の通り、日本各地における人物を取り上げ、背景となる歴史的つながりや時代性を今日の視点から論考している。地域おこしのキーマン、キーウーマンが「人財」となり得るために、知っておきたい情報を提供してくれる良書だ。



12 札幌靖人

1802年(享和2年)から1814年(文化11年)にかけて初刷りされた、東海道の風俗・名物を背景にして展開する滑稽本。鞠子のとろろ汁、桑名の物焼蛤をはじめ、今でもその影響は大きい。地域おこしの成否は読者(お客)をいかに楽しませ、参加させるかで決まると思う。そして、何よりも地域の人自身が楽しむことが必要だろう。



近・畿

大阪府

(株)松本空間工房

**賃貸マンションの管理業務で成長
いち早い情報集約化で顧客対応を強化**

大阪市南部を中心に賃貸マンションの入居あっせんやリフォーム工事などの管理業務を行い、成長しているのが(株)松本空間工房だ。

同社は創業100年の歴史を持つ中堅ゼネコン(株)松本組(同市)のグループ企業で、04年に松本彰人社長が設立した。母体の松本組はこれまで多くの賃貸マンションやテナントビルなどを建設してきたが、松本空間工房は、建築後の「フォロー」を主な業務とし、建物のオーナーと契約し、入居あつ



「地元密着企業として事業を継続」と松本社長



学生から住みたい部屋を募集するコンテストも毎年開催実際の施工に反映される(写真は昨年の最優秀案)

せん、家賃の管理、退去後のリフォーム、定期的なメンテナンス工事、古くなったマンションの大規模修繕工事などを行っている。

松本空間工房では住吉区など大阪市南部の4区と堺市をメインエリアに約300棟、6000戸の賃貸マンションを管理している。小規模マンションから15階建て80戸のマンションまでさまざま、顧客のオーナーは300人。建物のうち85%は松本組が建設した賃貸マンションだ。

こうしたグループ企業の強みを発揮しつつ、同社がもつとも力を

会社概要

本社：大阪市住吉区羽田5-6-3/0
6-6699-7721/設立2004
年/資本金2000万円/従業員45名
<http://www.matsumoto-kukukan-kobou.co.jp>

入れてきたのは独自の情報管理システムの構築だ。10年前から社員を専門会社に出向させてシステムエンジニア(SE)を育成。そして着手したのがデータ収集。建物の構造などがわかる建物データ、オーナーの意向などをまとめた顧客データ、修理の履歴が分かるメンテナンスデータをPCに集約。と同時に、全社員に「 아이폰」を持たせ、会社のアプリで情報をやりとりできる体制も確立した。

松本社長は「この情報システムづくりはどこの同業他社より早かった」と自慢する。おかげで「スピードリーな顧客対応が可能になったため、当社が管理するマンションの空室率は他社と比べて格段に低い」と話す。ちなみに、最近の賃貸マンションの空室率調査によると、大阪府の平均は19.9%、住吉区などエリアの平均が15~22%になっているが、同社は4.5%と際立っている。

不動産業界では家賃は下落傾向にあり、オーナーはリフォームにお金をかけられないと

社長のひとこと

QRコード対応のケータイ電話でご覧いただけます。



社長の自社採点

企画開発力	★★★★☆
営業力	★★★★☆
成長力	★★★★☆
収益力	★★★★☆
地域貢献力	★★★★★
人材力	★★★★☆
専門性	★★★★★
リサーチ力	★★★☆☆
計画性	★★★★☆
リスクマネジメント	★★★★☆



マンション、ビルに関する幅広いマネージメントを手掛ける同社

という苦しい状況がつづいており、住む人のニーズも変化してきている。そんななか、独自の情報化によって顧客対応の面で優れた付加価値を付けた同社からは学ぶべきところが多そうだ。

本裁判 押します!! 断然御薦



香川会計事務所 / (有)ユアープレーン (公認会計士・税理士) 香川晋平さん

顧客である不動産オーナーに對して、正確かつ迅速な対応と24時間のバックアップ体制による「安心」・たしかな情報提供による「安全」、積極的な提案活動でビジネスチャンス拡大への貢献による「安定」、という3つのコンセプトを心掛けている優良企業です。